

題目	健康・医療・環境の融合による市民参加型コミュニティ農業プロジェクトに関する研究
著者	弦間正彦

研究プロジェクト「農地と里山が結ぶ多世代参加の医農福連携モデル」研究を発展させるための基礎研究として、医療費と農業との関係について事例調査を堀口健治名誉教授とともに行った。

調査・研究の概要

高齢者における農業者と非農業者との健康上の差異を明らかにすべく、アンケート調査を実施した。埼玉県本庄市を対象に、農村部と都市部で基本的に同様のアンケートを各世帯に配布した。

アンケート項目は、①家族の年齢・現在の仕事の種類、仕事をすでにやめている人の年齢とそれまでの仕事種類、②平成元年以降に亡くなった家族の死亡時の年齢・亡くなる前の仕事種類と仕事をやめた時の年齢、それまでの従事期間の長さ等であり、さらに世帯の特徴や家族員の身長・体重、入院回数等を含むものであった。

考察結果及び政策的含意

以下の結論が導入できた。

①自営農業者男女の際立つ寿命の長さであり、それ以外の人との差では男性が特に大きい。

- ・男性：自営農業者の平均死亡年齢 81.5 歳 (n=274・SD=9.7)、それ以外 73.3 歳 (183・15.0)
- ・女性：自営農業者の平均死亡年齢 84.1 歳 (n=223・SD=10.0)、それ以外 82.5 歳 (151・11.6)

n は集計数で SD は標準偏差である。参考に市の平均寿命は 2000 年で男 76.8 歳、女 83.4 歳である。

②仕事の従事期間の長さでは男女ともに自営農業従事が長いことが特徴的で、それが健康寿命の延伸化に貢献していると理解できる。

- ・男性：自営農業者の引退までの就労期間 50.8 年 (n=264・SD=14.3)、それ以外 37.5 年 (154・14.1)
- ・女性：自営農業者の引退までの就労期間 49.1 年 (n=222・SD=12.4)、それ以外 28.0 年 (72・15.2)

③自営農業者の引退年齢は男女ともに高齢時をあげ、それ以外の多くが定年退職を引退年齢としてあげているのとは異なる。

- ・男性：74.2 歳 (n=272・SD=9.2)、それ以外 64.3 歳 (156・10.1)
- ・女性：72.8 歳 (n=226・SD=9.6)、それ以外 60.8 歳 (71・14.1)

④自営農業者の引退後の余命はそれ以外の人と比べ男女ともに短い。

- ・男性：自営農業者引退後死亡までの期間 7.4 年 (n=269・SD=7.3)、それ以外 9.6 年 (153・9.9)
- ・女性：自営農業者引退後死亡までの期間 11.0 年 (n=220・SD=10.0)、それ以外 19.3 年 (71・16.1)

自営農業者は農業従事から引退する年齢までを健康寿命とするなら、平均寿命との差が短いのは自営農業者の特徴といえる。自営農業者はいわゆる「ピンピンコロリ」の特徴が出ている。これらの研究結果は、共生社会システム学会大会での報告、「農林金融」2017. 9 における研究成果報告、さらに学会誌への論文投稿が行われた。